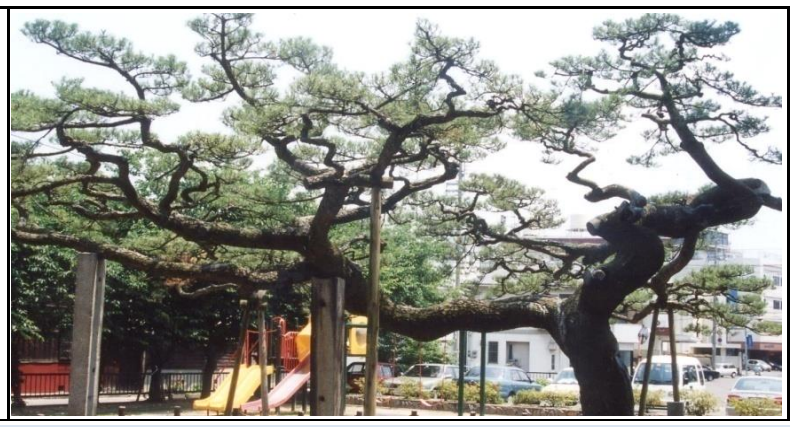
くちや

第５４１号

令和７年９月１日

発行　口屋跡記念公民館

電話　３２－８４３０



宮西校区人口

令和７年６月末日現在

人口	男	２，１４０人
	女	２，１７５人
	計	４，３１５人
世帯数		２，５１０世帯

公民館活動で軽スポーツ ボッチャ モルック を始めませんか！

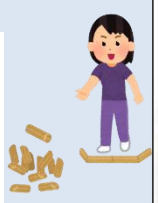
軽スポーツは、野球やサッカーなどの本格的なスポーツと比べて、体への負担が少なく、ルールも簡単！また、年齢や性別などに関係なく誰でも楽しめ、健康増進やストレス解消につながるスポーツです。

公民館では、「ボッチャ大会開催」や「移動サロン（出張教室・用具貸出）」など、軽スポーツの身近な体験をサポートしています。あなたも公民館で楽しい軽スポーツのはじめの一歩を！

モルック早わかり

モルックは、モルック（木製の棒）を投げてスキットル（数字が書かれた木製のピン）を倒し、５０点になったチームが勝つスポーツです。

① 先行がモルックを投げスキットルを倒す。
② １本だけ倒れた場合は書かれた番号が得点
　複数本倒れた場合は倒れた本数が得点
③ 同様に各チームが投げ、チームで得点加算
④ 50 点ちょうどで勝利！



スキットル

ボッチャ早わかり

←カラー版はまちづくり協議会のホームページでご覧ください。

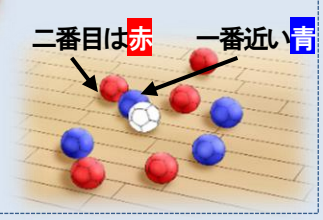
ボッチャは、赤・青６球ずつのボールを、投げる、転がす、他のボールに当てたりして、白ボールに近づけたほうが勝つスポーツです。

パラリンピックの正式種目になっていますが、障がいのあるなしだけでなく、全ての人が一緒に競い合えるスポーツです。

シニアボッチャ大会(6/25)

ボッチャサークル「オレンジ会」も会員募集中です。ご希望の方は公民館まで

白ボールに近い青が勝利！
二番目に近いのは赤ボールなので得点は１点



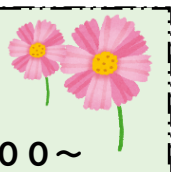
① 先行が白ボール（目標球）を投げる。
② 同じ人が赤ボールを投げる。
③ 後攻の人が青ボールを投げる。
④ 白ボールから遠い色の方が投げる。
⑤ 各６球投げ終わるまで④の繰り返し
　※先に６球投げ終わると最後は残った方が連投します。
⑥ 白ボールに近い方が勝利！
　近い球数が得点になります。

※正式競技として実施する場合は、コートの大きさや時間制限等の細かなルールがあります。

ご利用ください！移動サロン（出張教室）

『移動サロン』は、ボッチャ・モルックの出張による体験教室（９月１日～年度内実施予定）です。４名以上で申込みいただければ各自治会館へ道具を持ってお伺いします。道具のみの貸出もしていますので「やってみたい」「ルールを教えて欲しい」などがありましたら公民館へお問合せください。

９月の行事予定



３日(水)	男の料理教室（韓国料理）	１０：００～
１３日(土)	北中運動会	
１５日(月)	敬老の日（休館日）	
１６日(火)	民児協会・見守り推進員	１９：００～
１９日(金)	子育てサロンひよこっこ	１０：００～
２３日(火)	秋分の日（休館日）	
２４日(水)	校区軽スポーツ(ボッチャ)大会	１９：００～
２５日(木)	北中校区子ども絵画展	※10月8日（木）まで
２６日(金)	自治会長会	１９：００～
２９日(月)	趣味の講座（陶芸干支作り）	１０：００～
10/4(土)	校区敬老会	１０：００～

※行事予定は変更の場合がありますのでご了承下さい。

※１０月号の公民館報は１０月６日（月）～１０日（金）の間にHoo-JA!の中に折り込まれて配布されます。

校区ボッチャ大会のご案内

健康増進セミナーの一環として、校区住民を対象としたボッチャ大会を開催します。どなたでも、簡単に試合に参加することができます。未経験者の方も大歓迎ですので、ご気軽にご参加ください。

とき　令和７年９月２４日(水)　１９：００　集　合
　　１９：３０　試合開始

ところ　宮西小学校　体育館

申　込　参加ご希望の方は、９月１９日(金)までに口屋跡記念公民館まで。（**当日の参加も可能です**）

☆１１月に「校区モルック大会」を予定しています！詳細が決まればお知らせします。お楽しみに！

生涯学習講座のご案内

陶芸教室（干支作り）　※午（うま）年用

とき　令和７年９月２９日(月)　１０時～１２時

ところ　口屋跡記念公民館　３階大ホール

講　師　青葉　太一先生　（あおば窯）※人数制限有

参加費　馬の親子（1,500 円）親単体（1,000 円）

毎年恒例の陶芸教室を開催します！
来年の干支『午年』にちなんで
かわいい「お馬の親子」を作ります。

お申込みは、口屋跡記念公民館まで

第１４回北中校区子ども絵画展を開催します

１４回目を迎えた『北中校区子ども絵画展』　今年もたくさんの作品が集まりました。宮西小・新居浜小・北中の子どもたちの作品を、ぜひご鑑賞いただきますようご案内いたします。

展示期間　９月２５日（木）～１０月８日（水）
　　９：００～１８：００
※土日も開館します。最終日（10/8）は 15 時迄です。
展示場所　口屋跡記念公民館２階 軽スポーツ室 他
表 彰 式　各学校で行います。
問い合わせ：口屋跡記念公民館　☎ ３２－８４３０

第７５回新居浜市美術展覧会 作品募集

１０月３１日（金）から１１月９日（日）までの間、あかがねミュージアムにおいて開催される『第７５回新居浜市美術展覧会』の作品を募集します。奮ってご応募ください。（募集要項確認のこと）
募集部門　書道、日本画、洋画、工芸、写真、デザイン、版画
応募資格　市内在住者、出身者又は市内勤務者等（中学生以上）
申込・作品搬入　１０月２３日（木）９時４５分～１６時
問い合わせ：文化振興課　☎６５－１５５４

紹介！公民館サークル

吹き吹け あかがね(スポーツ吹き矢)

公民館で活動されているサークルを紹介します！

今回は、今年から活動開始された「吹き吹けあかがね」(代表者　明星守弘さん）です。スポーツ吹き矢は 1998 年に生まれた新しいスポーツ。競技会では、円形の的をめがけて息を使って矢を放ち、１ラウンド５本で点数を競います。腹式呼吸と日本古来の吹き矢を融合させたもので、腹式呼吸による体調の改善、緊張の緩和に効果があるほか、標的を狙うスポーツに共通する集中力向上とストレス解消なども期待できるとのこと。実際の練習を拝見すると、両手を高く掲げ、呼吸を整えた後、矢を放つ動作はスマートで格式もあります。また、競技としてもたいへん面白いように感じました。

現在約１０名の会員で活動をされていますが、新たに会員も募集中とのこと。公民館まで連絡いただければお繋ぎします。

呼吸を整え、一気に矢を的めがけ放ちます。

納期限のお知らせ[税金]

9月30日（火）　固定資産税・都市計画税

【第3期】

納期内に納付をお願いいたします。

編　集　後　記

★　私が、この夏発した言葉の№1 は、「今日も暑いですね～」です。いつになったら爽やかな秋風が吹いてくれるのだろう…と心待ちにしているのですが、気象予報士の予測では１０月までは暑い日が続くとのこと。カックリです。

ゴロゴロと雷の音と共にザーッと雨が降り、空気が一瞬にして変わる。そんな、子どもの頃(何年前かは秘密です)の夕立が懐かしいのは私だけでしょうか。草花も瀕死の状態でがんばって美しい花を咲かせてくれているので、雨乞いでもしてあげたい気分です。

まだまだ暑い日は続きそうですので、熱中症対策はしばらく続けましょう！２０分に１度は喉が渇いてなくても一口水分を摂ってください。感染症予防にもなるそうですよ。　（Ｙ.Ｏ）

7･8 月開催の各種講座等のご報告

趣味の講座（輪っかでネックレス作り）

７月２４日（木)、「趣味の講座」を開催しました。今回は、昨年に続き明星典子先生と河野和江先生に講師を務めていただき、新メニュー「輪っかでネックレス作り」に挑戦しました。

材料は、ビニールホースと様々な色合い・柄の布切れ、そして紐。先生の指導の下、ビニールホースを輪切り（輪っか）にし、布を貼り付け、繋ぎ合わせると、早い人は１時間少々でシンプルだけど豪華さも備えたネックレスに大変身しました。

参加者は「普段着にもおしゃれ着にも似合いそう」「軽量なので気軽に着けられる」と満足の出来栄えでした。

小学5年の女の子も
とても上手にできました

夏休みわくわく宮西っ子教室

「わくわく宮西っ子教室」に多くのみなさんが参加してくれました。７～８月に１０回実施した学習会、茶道教室、将棋教室、工場見学。みなさん素敵な夏の思い出ができましたか！

【工場見学】７月２８日（月）２４名参加

様々な分野で「世界のものづくり」を支える「住友化学㈱愛媛工場」を見学しました。

参加者はしゃぼん玉の実験にびっくりしたり、工場で作られる製品や仕事の説明に熱心に耳を傾けていました。

口屋跡記念公民館での集団検診のお知らせ

がん、生活習慣病等の早期発見、治療等のために年１回検診を受けて自分の体の状態を確認しましょう。
と　　き　令和７年１０月２７日（月）１３時３０分～１４時３０分
　　※今年度から午後の健診に変更となりました。
と こ ろ　口屋跡記念公民館
予約期限　令和７年１０月８日（水）事前予約が必要、先着順です。
問い合わせ・予約先：保健センター　☎３５－１３０８
WEB 予約はこちら（24 時間受付中）→

俳　句

（渚句会八月例会より）

上下左右しばらく違え昼寝覚　松本 勇二
タンポポの絮吹き童（わらべ）の如く老い　安藤 和子
朝焼は人を欺かない強さあり　飯尾 東子
五色素麺一本は青鬼の色　岡田 三月
落蝉を土に還して手を合わす　薦田 のり子
ほうたるや欲なく生きる術を知り　近藤 亜沙美
非とは何かガザの子の三尺寝　みうら 朱音
代筆と分かる便りの秋思かな　堀本 芳子